

審査方法及び審査基準

1. 審査方法

- (1) 各審査委員は評価項目ごとに採点し、評価項目ごとの平均点の合計が高い順に順位をつけます。
- (2) 上記(1)の合計点数が同数の場合は、見積予定額が少額の者を上位とします。
- (3) 上記(1)の順位が第1位の者で合計点数が24点以上であれば契約候補者とします。
- (4) 応募数が1者のみの場合は、合計点数が24点以上であれば契約候補者とします。
- (5) 契約候補者の合計点数が24点未満の場合は、審査会が対応を検討します。
- (6) 評価項目のうち、「0点」の評価をされた項目があった場合、原則として選定の対象としません。

2. 審査基準

下表の評価項目ごとに評価し、採点します。

評価項目	評価の観点	5点	標準点 3点	1点	0点
実施体制の 適格性	① 【専門性】 主たる責任者に事業実施に関する管理能力があり、業務遂行に必要な知見や経験等を有した人員が確保されているか。	・必要な知見、経験等を有した者が2名以上いる。	・必要な知見、経験等を有した者が1名いる。	・必要な知見、又は経験等のいずれかを有した者が1名いる。	・必要な知見、経験等を有した者が全くいない。
事業の目的 や趣旨との 整合性	② 【整合性】 現状の課題等を把握するとともに、事業の目的、趣旨と合致している提案内容であるか。	・的確に合致している。	・概ね合致している。	・合致していない内容が多い。	・合致は認められず、異なる提案となっている。
事業実施計画の 妥当性	③ 【具体性①】 農業者に効果的で魅力のある具体的なカリキュラム、講師編成及び研修先等が提案されているか。	・具体性が十分に認められる。	・具体性が認められる。	・具体性がやや欠けている。	・具体性が全くない。
	④ 【具体性②】 受講生が講師や他の受講生から刺激を受け、新たなネットワークを構築して成長できる学習方法が提案されているか。	・具体性が十分に認められる。	・具体性が認められる。	・具体性がやや欠けている。	・具体性が全くない。
	⑤ 【具体性③】 塾の運営、受講生のフォローアップ方法について、体制及び内容等が明確に示されているか。	・具体性が十分に認められる。	・具体性が認められる。	・具体性がやや欠けている。	・具体性が全くない。
実施方法の 効率性	⑥ 【計画性】 事業実施期間を有効に使うスケジュールになっているか。	・実施時期がバランス良く、余裕のあるスケジュールとなっている。	・無理のないスケジュールとなっている。	・スケジュールは記載されているが、具体性に欠けている。	・スケジュールについて全く具体性がない。
経費配分の 適正性	⑦ 【緻密性】 事業内容に見合った経費で、精度の高い積算がなされ、費用対効果の高い見積金額であるか。	・事業内容に十分見合った経費の配分で積算がなされている。	・事業内容に概ね見合った経費の配分で積算がなされている。	・積算は記載されているが、具体性がやや欠けている。	・経費配分に偏りがあり実現性がなく、具体的な積算がない。
期待される 成果	⑧ 【発展性】 修了生の受講3年後の目標達成及び地域への波及効果が期待できるか。	・期待できるものとなっている。	・概ね期待できるものとなっている。	・一部期待できるものとなっている。	・全く期待できない。